

交渉の議事要旨

| 課所等名 | 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | | 議題 | 発言概要 | 配付された文書等 |
|-------------------------|----------------------------------|------------------|--|---|--|---|----------|
| | | | 当局側 | 職員団体側 | | | |
| 経理課 | 平成25年9月3日(火) 10:30~11:20(50分) | 函館開発建設部 5階会議室 | 経理課長 成田 晃一 経理課長補佐 堀内 信 | 全北海道開発局労働組合 函館支部経理課分会 執行委員長 藤原 香織 副執行委員長 尾坂 真美 書記長 戸田 刚 | 1. 当課における超過勤務の縮減について 2. 当課職員のメンタルヘルスについて | ○職員団体側から 超過勤務の縮減に対する方策如何。 ○当局側から 各スタッフの業務分担の見直しを行い、超過勤務の縮減を図ってきたところ。今後もきめ細かな業務の進行管理に努めていく。 ○職員団体側から メンタル系疾患を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育の徹底等により職員の理解と知識を深めるとともに、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努めていく。 | なし |
| 契約課 | 平成25年8月1日(木) 17:19~17:25(6分) | 函館開発建設部 1階会議室 | 契約課長 岩船 真志 | 全北海道開発局労働組合 函館支部契約課分会 執行委員長 井上 武彦 書記長 西川 尚彦 | 1. 当課職員の超過勤務の縮減について 2. 当課職員のメンタルヘルスについて | ○職員団体側から 超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から 職員の健康管理に十分配慮するとともに、きめ細かな進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていく。 ○職員団体側から メンタル系疾患を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育の徹底等により職員の理解と知識を深めるとともに、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努めていく。 | なし |
| 技術管理課 施設整備課 防災対策官 | 平成25年8月2日(金) 8:45~9:05(20分) | 函館開発建設部 5階会議室 | 技術管理課長 根本 任宏 施設整備課長 中山 克己 防災対策官 田畠 修 | 全北海道開発局労働組合 函館支部 技術管理・施設整備課分会 執行委員長 坂下 熟 書記長 太田 好則 | 1. 当課における超過勤務の縮減について 2. 当課職員のメンタルヘルスについて 3. 当課におけるパワーハラスマントが行われない職場環境の整備について 4. 当課における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について | ○職員団体側から 超過勤務の縮減に対する独自の取り組み如何。 ○当局側から スタッフ制を活用し、特定の職員に業務が集中しないよう業務分担、配分に努めるとともに、職員とのコミュニケーションを取るよう努めている。 ○職員団体側から メンタルヘルスの不調による休職者を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育の徹底等により職員の理解と知識を深めるとともに、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努めていく。 ○職員団体側から パワーハラスマントが行われない職場環境づくりを求める。 ○当局側から 周知啓発を図り良好な職場環境づくりに努める。 ○職員団体側から 育児休業等を活用しやすい職場環境づくりを求める。 ○当局側から リーフレット配付等を通じて職員の意識啓発に努める。 | なし |

交渉の議事要旨

| 課所等名 | 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | | 議題 | 発言概要 | 配付された文書等 |
|------|-----------------------------------|------------------|--------------------------------|--|--|---|----------|
| | | | 当局側 | 職員団体側 | | | |
| 用地課 | 平成25年7月31日(水) 17:30~17:45(15分) | 函館開発建設部 5階会議室 | 用地課長 加藤 忍 | 全北海道開発局労働組合 函館支部用地課分会 執行委員長 千葉 裕樹 書記長 小池 隆司 | 1. 当課における超過勤務の縮減について 2. 当課職員のメンタルヘルスについて 3. 当課におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について 4. 当課における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について | <ul style="list-style-type: none"> ○職員団体側から 超過勤務時間が昨年度より減少している要因の分析如何。 ○当局側から スタッフの担当業務の見直し等により減少したことによる。今後ともきめ細かな業務の進行管理に努めていきたい。 ○職員団体から メンタルヘルスの不調による休職者を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育の徹底等により職員の理解と知識を深めるとともに、カウンセリング制度等による心の健康相談の利用促進を図り、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努めていく。 ○職員団体から パワーハラスメントが行われない職場環境づくりを求める。 ○当局側から 会議等の機会に周知啓発を図り、良好な職場環境づくりに努める。 ○職員団体から 育児休業等を活用しやすい職場環境づくりを求める。 ○当局側から 制度の周知等により職員の意識啓発に努め、休業者に係る業務の処理方策を早急に検討するなど、各種制度を活用しやすい職場環境づくりに努める。 | なし |
| 築港課 | 平成25年8月29日(木) 17:25~17:45(20分) | 函館開発建設部 2階会議室 | 築港課長 小玉 茂義 副執行委員長 鈴木 誠久 | 全北海道開発局労働組合 函館支部築港課分会 | 1. 当課における超過勤務の縮減について 2. 当課職員のメンタルヘルスについて 3. 当課におけるパワーハラスメントが行われない職場環境の整備について 4. 当課における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について | <ul style="list-style-type: none"> ○職員団体側から 超過勤務の縮減に努めてもらいたい。 ○当局側から 職員の健康管理に十分配慮するとともに、きめ細かな進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていく。 ○職員団体から メンタル系疾患を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育の徹底等により職員の理解と知識を深めるとともに、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努めていく。 ○職員団体から パワーハラスメントが行われない職場環境づくりを求める。 ○当局側から 会議等の機会に周知啓発を図り、良好な職場環境づくりに努める。 ○職員団体から 育児休業等を活用しやすい職場環境づくりを求める。 ○当局側から 制度の周知等により職員の意識啓発に努め、休業者に係る業務の処理方策を早急に検討するなど、各種制度を活用しやすい職場環境づくりに努める。 | なし |

交渉の議事要旨

| 課所等名 | 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | | 議題 | 発言概要 | 配付された文書等 |
|---------|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|---|--|--|----------|
| | | | 当局側 | 職員団体側 | | | |
| 江差道路事務所 | 平成25年8月8日(月) 12:05~12:14(9分) | 函館開発建設部 江差道路事務所 1階入札室 | 江差道路事務所 所長 河内 義則 総務課長 岡田 審司 | 全北海道開発局労働組合 函館支部江差道路分会 執行委員長 田中 貴憲 書記長 工藤 祐嗣 | 1. 当事務所におけるメンタルヘルスについて 2. 当事務所における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について | <ul style="list-style-type: none"> ○職員団体から メンタルヘルスの不調による休業者を出さない職場環境づくりを求める。 ○当局側から メンタルヘルス教育や情報提供などにより職員の理解・知識を深めるとともに、心の不調の予防と早期発見・早期対応に努める。 ○職員団体側から 両立支援制度の情報提供など育児休業等を活用しやすい職場環境づくりを求める。 ○当局側から 関係職員へ適時・適切に両立支援制度の情報提供を行うなど、制度を活用しやすい職場環境づくりに努める。 | なし |